

4

Rd.

JUL 2012

RACING
PRESS
apan

2012 AUTOBACS SUPER GT ROUND4
SUGO 300Km RACE



SUPER



2012 Round 4 SUGO

灼熱のセパンは対決の後は、またも灼熱太陽が照りつける東北ラウンド。何と予選日の最高気温は35℃、路面温度は56℃に達した。タイヤだけではなくドライバー、マシン、コースもこの温度には苦戦の連続。シリーズの前半を締めくくるSUGOラウンドは予選、決勝共に激しいレース展開が繰り広げられた。

SUPER GT 300km RACE

7/28-29

Editor

吉川航志

Special Text

高橋元子

Photo

鎌谷博博

中村佳文

原 勝弘

近江 勲



予選2位の23号車の本山と予選3番手の12号車オリベiraがスタートをミスしたポールポジションの6号車伊藤大輔を抑え先行。しかし1コーナーの手前で2台のGT-R同士がまさかの接触、2台はそのまま真直ぐスポンジバリアに激突しリタイア。スタート直後の大きなアクシデントでSCが導入される荒れるレース展開となった。



ENEOS SC430が悲願の勝利!

9年目ぶりの優勝

GT500 決勝結果

優勝	No.6	ENEOS SUSTINA SC430	伊藤大輔 / 大嶋和也
2位	No.36	PETRONAS TOM'S SC430	中嶋一貴 / L.デュバル
3位	No.1	S Road REITO MOLA GT-R	藤田真孝 / R.クインタレッリ
4位	No.39	DENSO KOBELCO SC430	脇阪寿一 / 石浦宏明
5位	No.38	ZENT CERUMO SC430	立川祐路 / 平手晃平
6位	No.35	KeePer Kraft SC430	国本雄資 / A.カルダレッリ



WINNER: ENEOS SUSTINA SC430

GT500

あと一步、優勝に届かず!

中嶋一貴、GT500初の表彰台



2nd



LEXUS上位独占の中、S Road GT-Rが表彰台を確保



3rd

S Road GT-R若手コンビが今季初優勝



WINNER

GT300

GT300 決勝結果

優勝	No.3	S Road NDDP GT-R	関口雄飛 / 千代勝正
2位	No.52	GREEN TEC & LFON SLS	竹内浩典 / 黒澤治樹
3位	No.88	マネバランホルギーニGT3	鎌戸 学 / 青木孝行
4位	No.33	HANKOOK PORSCHE	影山正美 / 藤井誠輔
5位	No.911	ENDLESS TAISAN 911	峰尾恭輔 / 横溝尚輝
6位	No.11	GAINER DIXCEL R8 LMS	田中昌也 / 平中克幸



予選6番手の関口雄飛 / 千代勝正の若手コンビが長谷見弘弘監督の見事な采配で貴重な1勝を飾った。ロールが大きいGT-Rはハードタイヤで勝負を賭けた。

メルセデスSLSが待望の表彰台

竹内浩典GT100戦目の快挙



2nd



3rd

THE TEAM

CLOSE-UP

Team

TOYOTA TEAM TOM'S

Text by M. Shimamura

Photo: Y. Tetsutani / Y. Nakamura

若手から外国人まで、多彩なドライバーを見事にコントロールする名将。

サーキットで見かけるミントグリーンカラーリング、今では「ペトロナスグリーン」としてすっかりお馴染みとなっているが、ペトロナスをスポンサーに全日本F3、フォーミュラ・ニッポン、そしてSUPER GTと3カテゴリーで活躍中なのが、TOYOTA TEAM TOM'S。そこで現在采配を振っているのが、関谷正徳監督だ。

自らもドライバーとして1983年にTOYOTA TEAM TOM'Sと契約。国内に留まらず、海外レースにも積極的に出向き、実戦に動しんだ。そして、記憶に残るのはなんといっても、伝統の耐久レース、「ル・マン24時間レース」において、日本人初となる総合優勝を果たしたこと。1999年のことだった。以来、日本ではGTレースで

活躍を続け、2000年、51歳まで現役を続けたという輝かしいキャリアの持ち主だ。

現役を退くと翌年には早速監督業務を開始、ドライバー目線でチームを牽引している。監督業としては、F3において4輪デビュー間もない若手ドライバーにアメとムチを使い分けた“教育”を実施。また、全カテゴリーで外国人ドライバーの所属率が高いことでも知られるチームとして、ワガママになりがちな彼らを上手く“調教”。チーム内でのコミュニケーションがスムーズにいこう、手順を引いたり、緩めたりするなど、つねに気を配っている。

チーム自体は、1974年に設立された名門であり、以前、トヨタのワークスドライバーだった館信秀とトヨタ系ディーラーのスポーツコーナー責任者であった大岩湛英のふたりが立ち上げたことも有名。ちなみに、TOM'Sというネーミングは、館の「T」、大岩の「O」、そしてモータースポーツの「M」と「S」を組み合わせたものである。限りなくトヨタのワークsteamに近い立場でこれからも日本のモータースポーツの中心にあり続けていくことだろう。

